



■ご寄付ありがとうございました

10月2日、佐渡市トキ環境整備基金への寄付金贈呈式が行われ、株式会社メニコン様(名古屋市)から20万円のご寄付をいただきました。

これは、自社開発製品稲わら分解促進剤「アグリ革命」の売上の一部を寄付していたので、今回で5回目となりました。



メニコン様による贈呈

また、4日には、トキ交流会館で寄付金贈呈式が行われ、生活協同組合連合会コープネット事業連合様(さいたま市)から、230万円のご寄付をいただきました。



コープネット事業連合様による贈呈

これは、2010年から実施している「CO-OP新潟佐渡コシヒカリ」を対象に販売したお米1kgにつき1円を寄付していただく取り組みによるものです。

このほかに、先の放鳥個体に含まれていた「つなぐ」の名づけ親である入濱直美様(福岡市)からもご寄付をいただきました。

ご芳志は、トキの野生復帰や生息

環境の整備に使わせていただきました。ありがとうございます。

■分散飼育地のトキが移送されました

11月6日、長岡市トキ分散飼育センターのトキ5羽ならびに11月12日、出雲市トキ分散飼育センターのトキ3羽が、佐渡トキ保護センターへ移送されました。移送された個体は、今後の野外への放鳥候補個体等として飼育されます。

■トキの情報をお寄せください

11月14日現在、佐渡島内で151羽のトキが確認されています。これまで群れで行動していたトキは徐々にペア形成に入り、首回りから背中にかけて灰色に着色した繁殖羽に変わっていきます。

トキを見かけたらトキ交流会館(フリーダイヤル0120-980-551)へお気軽に情報をお寄せください。また、怪我をしているトキを見つけたら環境省佐渡自然保護官事務所(0259-22-3372)へご連絡ください。なお、職員が現場に行くまで、トキに触れたり捕獲したりすることのないよう、ご理解とご協力をお願いします。

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

佐渡の大部分を作る岩石

佐渡島がまだ大陸の一部だった頃、陸上や海底で大規模な火山活動が起こり、たくさん火山灰や溶岩が流れ出しました。長い年月をかけて佐渡島や日本列島は大陸から切り離され、現在の位置に落ち着きました。佐渡島には、大陸とくっついていた時代に起こった火山活動を示す岩石がたくさん残されています。

その中でも特徴的な岩石が「緑色凝灰岩(グリーンタフ)」です。島内では、特に相川の海岸に多く見られる岩石で、緑色をしていることが特徴です。海底火山から噴き出した火山灰などが海底に降り積もり、火山灰の中に含まれる鉱物が緑色に変質し形成された岩石です。

凝灰岩とは、火山灰がかたまった岩石のことを指しますが、緑色凝灰岩は、凝灰岩だけでなく、緑色をした溶岩や火山から噴き出した岩石などの総称として使われます。このような特徴を持つ岩石は、男鹿半島ジオパークや山陰海岸ジオパークでも見ることができ、日本海側を代表する岩石です。なぜなら、先述のように、緑色凝灰岩は日本列島や日本海が形成される時の火山活動によって形成



◆教育委員会社会教育課
ジオパーク推進室(両津支所内)
☎27-4185

